

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ とうきょうえんげきしゅうだん かぜ 株式会社 東京演劇集団 風		
代表者職・氏名	代表取締役 浅野佳成		
制作団体所在地	〒164- 0003		
	東京都中野区東中野1-2-4		
電話番号	03-3363-3261	FAX番号	03-3363-3265
ふりがな 公演団体名	とうきょうえんげきしゅうだん かぜ 東京演劇集団 風		
代表者職・氏名	芸術監督 浅野佳成 / 劇団代表 柳瀬太一		
公演団体所在地	〒164- 0003		
	東京都中野区東中野1-2-4		
制作団体 設立年月	1987年 10月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 浅野佳成 取締役 柳瀬太一/緒方一則/西垣耕造/ 佐藤春江 監査役 柴崎美納/津田純一(外部監査)	[団体構成員] 劇団員(専属契約)33名 俳優24名/スタッフ9名 [劇団加入条件] 実習生として1年の養成期間を経て入団。 その後3年間の研究生期間を経て劇団員となる	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	江原早哉香
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	辻幸男

制作団体沿革	1987年 現代劇を上演する意図をもって劇団を創立。 全国の青少年に向けた巡回公演を開始し、現在まで継続する。 1999年 劇団の拠点劇場〈レパトリーシアターKAZE〉を東京・東中野に建設。 地域に根ざし、観客との対話の中で質の高い作品を育てるレパトリーシステムを始動。 2003年 2年に1度のビエンナーレKAZE国際演劇祭を開幕。以降、フランスや東欧等の トップアーティストとの交流・共同制作が、思考と試みを重ねる演劇創造へと発展。 2017年 創立30周年として「バールを愛した女」(ブレヒト作/浅野佳成演出)「記憶の通り路」 (ヴィスニョック作/江原早哉香演出)等の新作・レパトリーを連続上演。 2020年 手話や字幕、音声ガイドを演出に組み込んだバリアフリー演劇の全国展開を開始。				
学校等における 公演実績	創立以来35年間、全国の学校・教育委員会と連携し、対話を繰り返しながら、 青少年に演劇を届け続けています。 [これまでの実績・演目別上演回数] 『星の王子さま』延べ1500公演、『ヘレン・ケラー』延べ1600公演、『Touch』延べ1200公演 『ジャンヌ・ダルク』延べ330公演、『ハムレット』延べ230公演、『肝っ玉おっ母とその子供たち』延べ600公演 年間平均で全国約170会場(学校体育館・文化施設)で公演を実施。年間およそ13万人が鑑賞。 [2020年の公演実績] 全国61会場 全84公演 ◇ 松兼功作『ヘレン・ケラー〜ひびき合うものたち』17会場 26公演／2019年からバリアフリー上演を展開 ◇ ライル・ケスラー作『Touch〜孤独から愛へ』16会場 25公演／公演と併せ演劇ワークショップを実施 [2019年実績]全国192会場 全197公演 / [2018年実績]全国169会場 全191公演 離島や被災地において、地域の教育機関・教育委員会・地域住民と協働し、継続した演劇公演の鑑賞参画機会を創出。まちづくり・多文化共生・地域課題などの解決へとつなげています。				
特別支援学校に おける公演実績	すべての子供たちが共に「感動」と「希望」を抱き、自らの芸術性と出会えるよう工夫を重ね、 これまで延べ24校の特別支援学校で公演を行っています。 [これまでの公演実績] 特別支援学校16校、盲学校3校、聾学校4校、病弱支援学校1校 全24校 北海道教育大学附属特別支援学校／盛岡青松支援学校(旧松園養護学校)／群馬大学教育学部附属特別 支援学校／群馬県立しらがね特別支援学校／群馬県立聾学校／群馬県立吾妻特別支援学校／群馬県立 高崎高等特別支援学校／群馬県立赤城特別支援学校／栃木県立那須特別支援学校／柏特別支援学校流 山分教室／岐阜県立聾学校／京都府立城陽支援学校／奈良県立聾学校・盲学校／三重県立特別支援学 校東紀州くろしお学園おわせ分校／岡山盲学校／倉敷市立倉敷支援学校／広島中央特別支援学校／山口 県立下関総合支援学校／琴の浦特別支援学校／児湯るびなす支援学校／福岡県立柳河特別支援学校／ 熊本県立天草高等学校倉岳校／宮崎県立都城さくら聴覚支援学校 2019年から、福祉作業所との連携公演や、障害当事者との共同制作、情報保障(舞台手話通訳・ 字幕・音声ガイド)を演出に組み込んだ舞台づくりに取り組んでいます。 誰もが共に楽しめる“バリアフリー”な演劇づくりのために、研究会・上演を繰り返しています。				
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有		
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有		
		※公開資料有の場合URL			
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:			
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料			
		※公開資料有の場合URL			
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID:			
	PW:				

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京演劇集団 風 】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生
	○	小学生(中学年)		
	○	小学生(高学年)		
企画名	全校児童生徒でつくるミュージカル			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	星の王子さま 原作：サン＝テグジュペリ 翻訳：内藤濯 構成・演出：浅野佳成 作曲：八幡茂 公演時間（100分）			
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	ちっぽけな星でたった一輪の花と暮らしている小さな王子さま ある時、王子さまは花と喧嘩をして星をめぐる旅に出ます 最後にやってきたのは地球 砂漠で、飛行士とキツネに出会った王子さまは 友だち かけがえのないもの はかないもの とは何かを知り、成長していきます そして一年が経ったある日、王子さまは地球で出会った友だちに別れを告げて 花のために自分の星へ帰ることを決心します たったひとりで力強く生きる王子さまが見つけた かけがえのないもの 今を生きる私たちに王子さまが語りかけます 「かんじんなものは目にはみえない 心で見なければ」と 地球と人間の美しさを描いたファンタジー 1943年、第二次世界大戦の最中、作者サン＝テグジュペリはこの作品を残しました。 時代が流れるなかで、世界中の多くの人々を励ましている作品です。 東京演劇集団風の『星の王子さま』は、物語に散りばめられた「ものごとの奥深くにある真実、生きることの尊さを心の目で見てほしい」というメッセージを、ことばや身振り、音楽などでシンプルに描いています。すべての人を優しく劇世界に導き、観客に想像するよろこびを呼び覚ます作品です。(別紙:舞台写真をご参照ください)			
演目選択理由	王子さまは星をめぐり、様々な人と出会いのなかで、学び、成長していきます。 学校という場所で、友だちや先生と出会い、経験をともにしながら育っていく子供たちに、そのふれ合いのなかで生まれた、目には見えない思い出や時間をいつまでも大切にしてほしい——という願いを込めました。 『星の王子さま』は、すべての世代の人がそのときの感じ方や考え方で見ることのできる、無限の広がりを持った作品です。 子供同士、子供と先生、さらには子供と保護者との間に対話が生まれ、お互いを新たに発見するきっかけになると考え、本演目を選択しました。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	全校の児童生徒が『星の王子さま』を一緒につくる演技者・共演者となります。 演劇を間近に見ることにより、個々に湧き上がってくる感情や願い。それらを自分なりに表現して、俳優・スタッフと共に物語のクライマックスをつくりあげます。 最上級生全員が旅立ちの意志を歌にして舞台から客席へと届ける場面、先生方も活躍できる特別共演場面も用意しました。 本番の前後には、劇場空間をまるごと探検するバックステージツアー、照明・音響のオペレート体験等を実施します。 子供たちと先生のかけがえのない1日となるよう、一校一校のプログラムを作成します。 (別紙をご参照ください)			
出演者	白根有子／緒方一則／渋谷愛／工藤順子／栗山友彦／中村滋／白石圭司 ほか (バリアフリー版での上演では、舞台手話通訳・音声ガイドナレーターも同行します)			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 9 名 スタッフ: 15 名 合 計: 24 名	機材等 運搬方法	積載量: 11 t 4 t 車 長: 11.9 m 8.4 m 台 数: 1 台 1 台 計2台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間		計 5	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時30分	8時30分～12時 (リハーサルを含む)	13時～14時30分	10分	15時～ 17時30分	17時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		～全学年(1000名程度)			
	本公演		～全学年(800名程度)			
ワークショップ 実施形態及び内容	旅立つ王子さまを歌や台詞で励ますクライマックス場面の事前練習です。 作品の作者、あらすじや背景、子供たちが参加するシーンを丁寧に説明したのち、練習を行います。俳優がクライマックスの一場面を演じ、俳優の声と身振りがつくりだす演劇空間のなかで、子供たちも実演をしながら、演劇とはなにか、演じるとはどういうことかを体感するワークショップです。(詳細は別紙をご参照ください)					
ワークショップ 実施形態の意図	どんな子供も、年齢や障害に関わらず、誰もがさまざまな可能性を持っています。 本番に向けて、彼らの内にある力が自由に動き出す契機となつてほしいと考えています。 俳優との「演じる」行為によって、子供たちと芸術の出会いがより身近なものとなること。 学校のみならず、そして先生とも一緒になって『星の王子さま』をつくるプロセスに関わることで、 みんなと力を合わせて取り組む楽しさや達成感、自由に創造することのよろこびなど—— たくさんの発見が生まれることを期待しています。					
特別支援学校での 実施における工夫点	子供たちが好奇心をいっぱいに発動させ、ありのまま自分を表現してつくる『星の王子さま』 です。それぞれの障害特性や日々の取り組みを先生方に伺い、ワークショップや公演のプログラムに反映させていきます。 さわる・ふれる・感じることから、身体全体で舞台をイメージできる体験。「好き」なことや「得意」 なことを活かして、「ひとりひとりが主役になる」参加・共演。 子供たちが自信をもって人と関わり、先生・保護者とも一緒に楽しめるよう、安全面にも配慮した 様々な工夫を行います。(詳細は別紙をご参照ください)					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名	東京演劇集団 風	】
項目内容 演目概要		地球と人間の美しさを描いたファンタジー『星の王子さま』の舞台  星を見上げる王子さま  飛行士との出会い  王子さまの星に咲いた一輪の花  星めぐり～命令ばかりする王様  砂嵐のなかで泉を探す  キツネと王子〈かんじんなことは目には見えない〉  王子さまはヘビとともに砂漠の夜空に消えていく		

リンク先	No.2	【公演団体名	東京演劇集団 風	】
項目内容 児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	『星の王子さま』の共演参加内容 子供たちの勇気と希望がつくる『星の王子さま』のクライマックス  全校児童生徒が「動き」「歌」「台詞」で共演します。 ※ワークショップで事前練習を行います。  共演する子供たち 最上級生が未来への決意を込めて歌う「ぼくの旅はつづく」  最上級生が舞台に登場、俳優と「歌」で共演して、一幕のラストシーンをつくります。 ※公演当日に本番通りの舞台・照明・音響で俳優・スタッフとリハーサルを行います。 先生の出演に客席も盛りあがる「星めぐり」のシーン   星の住人「呑み助」「地理学者」の役で、先生たちに参加を提案しています。 ※公演当日にリハーサルを行います。			

リンク先

No.2

【公演団体名

東京演劇集団 風

】

『星の王子さま』の体験と交流

「劇場」をまるごと探検

本番に向けて子供たちの期待がふくらみ、キャリア教育にもつながる体験を実施しています。俳優や各専門分野のスタッフとの質疑応答、座談会なども開催します。



バックステージツアー



音響のオペレート体験



舞台照明の体験



公演後の俳優との交流

項目内容
児童・生徒の共演、
参加又は体験の形態

「こんなことをしてみたい!」「体験させたい!」という先生方の声をもとに、学校ごとに共演・体験内容をつくります。

- 吹奏楽部の生演奏による共演
- 校内外に掲示する公演ポスターの作成
- 舞台設営・撤去作業の体験
- 俳優・スタッフの授業への参加 など

吹奏楽部の生演奏によるカーテンコール



子供たちと先生のかげがえのない思い出づくりに ～『星の王子さま』のフィナーレ～



リンク先	No.3	【公演団体名	東京演劇集団 風	】
項目内容 ワークショップの実施形 態及び内容	ワークショップの実施内容			
	演劇づくりの始まりー 学校の全員でつくり上げるクライマックス			
		『星の王子さま』に出会う この日はじめて、子供たちは演出家、共演する俳優たちと出会います。この出会いをきっかけに、学校のみんなでつくるミュージカル『星の王子さま』が始まります。 ※事前に、児童生徒全員に『星の王子さま』上演台本が配布されます。		
		実演① 共演者と心を通わせて〈動き〉をつくる [王子さまの台詞でその場に立ち上がりー星に帰った王子さまに別れを告げる]一連の〈動き〉を、王子さま役の俳優と視線を交わし、息を合わせて演じます。		
		実演② それぞれの想いを〈台詞〉で表現する 飛行士役の俳優と一緒に、星に帰った王子さまに呼びかける〈台詞〉を体験します。 俳優の演技や表情から個々のなかに起きてきた気持ちを、声と身体で伝え、自分自身のリズム・声・表現に出会っていきます。		
		実演③ 王子さまを支え、〈歌〉で気持ちを届け合う 王子さまとかけ合いで歌うソング「ぼくは行く」を、まず言葉（歌詞）でやり取りします。相手に言葉を届けることで、徐々に王子さまを応援する気持ちを高めていき、王子さまの決意を支えます。		
	実演④ 全員が協力してつくる「通し稽古」 体験した〈動き〉〈台詞〉〈歌〉を基に本番通りに「通し稽古」を行います。互いの表現の違いや豊かさに気づきながら、力を合わせてつくるという創作の喜びを感じていきます。 共演する仲間として俳優やスタッフに親しみを持つよう、舞台や道具の体験、音響のオペレート体験なども行っています。			

リンク先	No.3	【公演団体名	東京演劇集団 風	】
項目内容 特別支援学校での実施 における工夫点	特別支援学校における工夫 さわる、感じる、対話する——舞台のイメージを深める体験や交流  手でふれ、衣装の形を確かめる  開演前に俳優たちと交流 ■ 舞台の広さや大道具、出演者の衣装の色や形を想像できる、開演前の「舞台説明」 ■ 道具や衣装に実際にさわって体感し、俳優たちにふれて仲良くなるバックステージツアー など 「好き」や「得意」を発揮して、「ひとりひとりが主役になる」  王子さまの星の上でポーズ  手話歌によるフィナーレ ■ 身振り・手話歌・楽器の演奏などによる参加共演場面 ■ 歌や詩の発表などを取り入れた、学校個別のフィナーレ ■ 車いすやストレッチャーでの共演、病院内からでも体験できるプログラムの作成 など みんなで一緒に演劇を楽しむ、さまざまな工夫  バリアフリー版での上演  ライブ中継での観劇後、出演者が別室を訪問 ■ 舞台手話役者・字幕・音声ガイドを付したバリアフリー版での上演 ■ 別室で鑑賞する子供たちへのライブ中継 ■ 俳優の声のプレゼント、点字台本、自己紹介や手話歌を収録した映像の送付 など 子供たちが安心して活躍の場を広げ、子供たち・先生・保護者が一緒に楽しめるよう、安全面に充分配慮した舞台設営・会場づくりを行い、実施します。			

『星の王子さま』をみる皆さんへ

俳優（キツネ役） 工藤順子

王子さまは旅をしながら、疑問を感じたり、不思議に思ったことを「どうしてだろう?」「なぜだろう?」と自分や人に問いかけます。そして、「心で見なければ、大切なことは目には見えない」という言葉に出会います。

みんなも、そんな王子さまと一緒に「自分の大切なものってなんだだろう?」と、旅をしてくれば、嬉しそうです。そして、ひとりで寂しい旅をする王子さまを励ましてあげてください。自分の夢、友だちや家族のこと——、みんなさんが見つけた「大切なもの」は、きっと自分や誰かにとっても、自由に未来へ羽ばたくための勇氣と希望になると思っています。



たまに私は「大切なもの」を忘れ落ち込んでしまう時があります。そんなとき私は、この芝居と一緒につくったみんなの声や笑顔、その風景を思い出して、振り返るようにしています。すると、なんだか勇氣がわいてくるのです。

みなさんも、心がきりきりして、誰かのことを考える時間も、気持ちもなくなってしまうことがあるかもしれません。でも、大丈夫です。王子さまは、いつでもそばにきて、笑いながら元気に優しく、あなたの心に話しかけてくれます。

東京演劇集団風 —未だ形を採らない豊かさを求めて

1987年に創立。この名前には「自由に風のようにものをつくる」という思いが込められています。1999年には、東京・東中野に専属の拠点劇場「レパトリーシアター KAZE」を建設。

脚本家・演出家・俳優・音楽家・ダンサー・デザイナー・照明家・音響家・美術家・衣装デザイナー・メイクアップアーティスト・ヘアメイクアップアーティスト・プロデューサー・マネージャー・事務・広報・ボランティアなど、多岐にわたる分野で活動しています。2003年からは、国際演劇祭を開催し、海外アーティストとの交流や共同制作も行っています。

また、中学生・高校生を対象とした巡回公演にも力を注ぎ、プレヒト作「肝っ玉おっ母」とその子「おっ母」の対峙を描いた『おっ母』をはじめ、6作品が各地での上演活動が続いています。特に創立以来、上演を続けている『星の王子さま』は劇団の代表作です。2017年には創立30周年を迎え、記念企画として、レパトリーシアター作品と新作の上演を2年間にわたって行いました。

2019年からは誰もが一緒に楽しめるバリアフリー演劇の上演を開始しました。



東京演劇集団風

〒164-0003 東京都中野区東中野1-2-4
Tel.03-3363-3261 [代] Fax.03-3363-3265
E-mail: info@kaze-net.org URL: http://www.kaze-net.org/

訳者 内藤 龍 (岩波書店刊)
構成・演出 浅野 佳成
制作 サン・エグジュペリ Saint-Exupéry

星の王子さま

ミュージカル ほうのほのほのほ



東京演劇集団風

文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに上演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

Le Petit Prince

東京演劇集団風の
ミュージカル

星の王子さま

ちっぽけな星にひとりで住んでいる王子さま。ある日、その星にきれいな一輪の花が咲きます。王子さまは喜んで、花と仲良く暮らしますが、ある時ちよとしたことになってしまいます。そして王子さまは、自分の星を飛び出して、星を巡る旅に出かけます。王子さまは、さまざまな大人たちと出会いますが、なかなか自分が住みたいと思う星が見つかりません。最後に地球にやってきた王子さまは、砂漠で飛行士と出会い、一緒に旅を続けます。飛行士や一匹のキツネと友だちになることを通して、誰にでも“かけがえないもの”があることを知った王子さまは、花が自分にとって大切な、守らなければならない存在だと気がつきます。そして成長した王子さまは、飛行士と地球に別れを告げて、花のために自分の星に帰ろうと決心するのです。

星があんなに美しいのも、目に見えない花が
ひとつあるからなんだよ



フランスで生まれた作者サン＝テグジュペリは、1943年、第二次世界大戦のさなかに、この小さな少年の物語『星の王子さま』を書きました。大きな戦争の時代を経験したサン＝テグジュペリは、この作品に、“物事の奥深くにある真実を心で見つけてほしい”“思い出や美しいものを感じる心を大切にしたい”という想いを込めています。懸命に生きる小さな王子さまの勇氣と、美しさや、はかなさが描かれているこの物語の世界を大切に、『星の王子さま』を上演しています。

“日本のすべての子どもたちへ”

東京演劇集団風の『星の王子さま』の上演活動に共感したサン＝テグジュペリの遺族から日本の観客に届けられたメッセージ



日本の小さな子どもたちよ、あなたがたの勇氣は、この星ぜんたいにとってのお手本です。太陽がまた輝きだすという希望を失わないでください。あなたがたはわたしからはあまりに遠く離れているので、この目であなたがたを見ることはできません。でも心の目で見ることができなのです。そして言わせてください。星の王子さまはあなたがたとともにいて、あなたがたを助けてくれます。彼は世界のすべての子どもたちの友だちです。彼はあなたがたの友だちなのです。

——心からの友情を込めて

フランソワ・ダゲイ François d'Agy
(サン＝テグジュペリ財団理事長 Succession Antoine de Saint Exupéry)

スタッフ

音楽……八幡茂
演出助手……江原早織香／西垣耕造
舞台美術……松井るみ
照明……坂野貫也
音響……酒井篤志
衣裳……出川淳子
振付……郡司行雄

キャスト

王子……自航有子
飛行士……緒方一則
キツネ……工藤順子
花……淡谷愛
ヘビ など……栗山友彦
星の住人 など……中村滋 ほか

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B21	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	B	区分	B区分
公演団体名	東京演劇集団 風				制作団体名	株式会社 東京演劇集団 風			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件		特にありません。			可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			10t	1台	4tトラック	1台	可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			体育館に横付けできない・学校に侵入できない場合でも、小型車両に積み換えるなどが可能です。				
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			11tトラック(幅2.5m、長さ12m、高さ3.7m)				
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可
	搬入経路の最低条件			学校や近隣の状況に即して、搬入・舞台設営を行いますので、ご心配は不要です。				可
	理由			ワークショップ時に経路等を確認し、先生方と相談し経路を決定します。				
	設置階の制限 *			問わない				可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		可
WSについて	参加可能人数	1000名程度						可
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				可	
	所要時間の目安 単位:分	90分						可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		800名程度					可
	舞台設置場所 *		フロア					不可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	12m	奥行	9m	高さ	特になし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要			可
		舞台袖スペースの条件 *			特にありません			可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		可
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由	劇団で暗幕を持参します			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可
		ピアノの事前調律 *		不要			可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		特にありません			可	
	公演に必要な電源容量		150A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談
※電源が満たない場合でも、問題ありません。劇団が発電機を持ち込み、舞台設営を行います。							可	
※舞台設営は、公演前日夕方から開始します。(2時間～)							可	
※体育館の条件にかかわらず、創意工夫し、本格的な演劇空間を創り出します。							可	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

